

## 香取市の地域移行支援関係者 来所



▲焼きたてパンを購入中の皆さん

1月29日(木)、香取市で障害者の地域移行を支援している香取健康福祉センター(香取保健所)、香取障害者支援センター、本多病院などの関係者14名が来所し、見学されました。

香取市には現在、就労継続支援B型事業所は無く、同A型事業所の栗源協働支援センター(恋する豚研究所)が唯一の障害者通所事業所となっていて、福祉施設を含めた社会資源の拡充が地域の課題となっているそうです。

来所後、パン類を製造している様子を見学し、続いて施設長の山本さんが「法人のあゆみと事業」をパワーポイントを使って、表や写真等を示しながら説明しました。その後、主任の田村さんが、しおさいについて説明して施設の概要や作業内容等を理解して頂きました。



▲法人について説明する山本さん

## ボランティア団体からタオル贈与

過日、市役所を經由して、ボランティア団体「八つ手グループ」よりタオルの贈与を受けました。しおさいでは、パン製造を行うに際、清掃用にタオルなどの布ものを多く使用するため、このような贈り物は大変有り難いです。心より感謝致します。



▲たくさんのタオル

大衆日報(平成27年1月6日付け)に掲載された記事

「八つ手グループが集めたタオルです。福祉施設でお役立てください」と話し、越川信一・銚子市長にたくさんのタオルを託すのはボランティア団体・八つ手グループの外口邦子さんら。

タオルの寄贈は12月24日(水)、銚子市長室で行われ、外口代表らは越川市長に、「福祉施設では手を洗ったり、作業の際にタオルを使用することが多いと聞いています。ささやかな寄付ですが、どうぞ施設活動にお役立て下さい」と贈呈した。越川市長は「保育園やわかば学園・三崎園・長崎園、そして地域活動支援センターのぞみ・しおさい等で使用させていただきます。たくさんのタオルの寄贈、毎年ありがとうございます」と感謝を述べた。



▲掲載された記事

【市長!しおさいとのぞみは地域活動支援センターではありませんよ〜(^^)】



## 生涯大学校から寄付

1月16日（金）、千葉県生涯大学校東総学園の手芸クラブより寄付金を頂戴いたしました。

このお金は、手芸クラブが昨年12月に行われた福祉まつりに参加した際の売上金とのことで、学園長と手芸クラブ員2名が来所され、贈呈式を行いました。

頂いたお金は、しおさいの活動費金として有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



## 上野町でのパン販売開始

1月20日（火）より、銚子市上野町のある居宅介護支援事業所さんきゅうの玄関前をお借りして、上野町の住民向けのパン販売を始めました。

これまでも週1回、さんきゅうの職員向けの販売を行なっていましたが、さんきゅうのご好意により、町内の方々にも周知して下さり実現しました。

販売開始時刻の11時30分を過ぎると、町内の方々が訪れて下さり、お気に召したパンを購入して行かれました。

また、旭市のアルファー工房【希望塾】（NPO法人あおぞら）もテーブルを並べて、豆腐や餃子、惣菜、杏仁豆腐、ジャムなどを販売していました。



▲寒風の中で販売するスタッフとメンバー



▲元気に接客するメンバー（中央）

### ～編集後記～

最近、銚子でも“月への階段”（写真左）というのが話題に上がることがあります。“月への階段”とは、満月が水平線から昇り始めた直後、海面を照らす月光の帯が、まるで足元から月へと続く階段のように見える現象のことです。私は残念ながら“月への階段”を見たという記憶がないのですが、先日、仕事帰りに愛宕山に行ったところ、ちょうど日没時刻で、太陽が水平線へ沈もうとしており、夕日の光が帯状に海を照らして“月への階段”ならぬ“太陽への坂道”という感じでとてもきれいでした。（写真右）素晴らしい日の出ときれいな夕日の両方が身近な場所から見られる銚子はとても良い所ですね。愛宕山からは気象条件が整えば、筑波山は言うに及ばず富士山や日光男体山なども望むことが出来ます。たまには気晴らしに行ってみてはいかがでしょうか？

